

学位被授与者氏名	門馬 一平 (もんま いっぺい)
論文題目	交易という「生き方」 ーパプアニューギニア・ルイジアード群島における交易ネットワークの 分析からー
論文審査結果の要旨	<p>ルイジアード群島は、マリノフスキーが論じたクラ交易で有名なトロブリアント群島に隣接し、財貨交易に関するいくつかの先行研究がある。本論ではこれらの先行研究で論じられている構造機能的説明に留意しながら、交易を行う個人の「生き方」に焦点をあてることで、交易ネットワークの社会的な意味を明らかにしている。</p> <p>門馬は儀礼や贈与の場における財貨交換の事例のみならず、カヌーに乗り実際の航海圏交易の参与観察によるデータから、交易者の思惑や意図、戦術などの事例を分析している。それによると交易の現場では、必ずしもあらかじめ計画していた通りに目的が達成されるとは限らず、多分に状況論的な判断や交渉がおこなわれている。こうした臨機応変なやりとりが、交易者の名声や評判などを形作り、世代を越えた関係性の構築などに関与しているというのが本論の主張のひとつとなっている。交易ネットワークとは、彼らの「生き方」の表現方法のひとつであり、1人のビックマン(社会的評価を得た成人)の人生をかけた作品であるという門馬の解釈は、データの裏付けから十分な説得力を持ち、交易研究においてこれまでに見落とされていた独創的な結論といえる。さらにこの新しい交易論は、今後の研究で財貨を介した交換論や贈与論へ展開されていくことが期待される。</p> <p>なお、当該論文は2014年3月16・17日に静岡で開催される第19回生態人類学会、2014年3月21・22日に高知で開催される第31回日本オセアニア学会研究大会、2014年5月17日・18日に千葉で開催される第48回日本文化人類学会研究大会での発表を予定している。</p> <p>平成26年2月12日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-101教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>